

参考資料

(1) 「計画」を「実践」につなげるために

◎「この学習はキャリア教育につながっている」と意識して教育活動に取り組む

①「キャリア教育」を意識する環境づくり

- ・目標や活動計画の共有 今月は〇〇です → 職員会で、学年会で、日報等で周知
- ・具体的取組の共有
- ・タイムマネジメント（教師も、子供も）

②全教育活動の中で行っているということは…

- ・先生方の子どもへのかかわり、子ども同士のかかわり自体が「キャリア教育」
- ・教師の人権感覚
- ・発達障害に関する正しい理解 → 肯定的な支援
- ・保護者にむけた「キャリア教育」・・・子どものよさを伝える、家庭の取り組みを聞き、認める

③目標や活動成果の共有・・・一人ひとりのよさを具体的に伝える

- ・自分の役割に前向きに取り組む
- ・協働して取り組む
- ・課題解決の達成感
- ・子どもが活動の成果や自分の成長を実感するための評価 → 次の担当に引き継ぐ

【参考】ポートフォリオの活用

- キャリアノート(青森県教育委員会) わか杉っ子の「キャリアノート」(秋田県教育庁)
- キャリア教育ノート(愛知県教育委員会) わたしのキャリアノート(広島県教育委員会)

(2) キャリア教育の心構え

(1) キャリア教育が促す「学習意欲」

- ・充実した計画に基づいてキャリア教育を推進している学校ほど、学習意欲も向上
- ・学習意欲の向上が見られる学校では、キャリア・カウンセリングを活用

(2) 子供たちの「見取り」と教育活動の「点検」

①見取りのポイント

- ・社会的・職業的自立に向けて身に付けさせたい力を明確にする
- ・生徒の実態を踏まえた評価規準・指標を設定する
- ・身に付けさせたい力を生徒と共有する

②点検のポイント

- ・実践を継続的に進められる体制をつくる
- ・目標、計画、実践の一貫性を確認する
- ・キャリア教育の充実につながる関係をつくる

〈参考〉

※国立教育政策研修所 「キャリア教育」資料集 研究・報告書・手引き編

http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/26career_shiryoushu/